

# 日本仏教社会福祉学会 ニュースレター

No.38

■ 令和7(2025)年5月25日

■ 発行・編集 日本仏教社会福祉学会 事務局

## CONTENTS

- ・ 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会 報告
- ・ 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会第1回理事・役員会報告
- ・ 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会第2回理事・役員会報告
- ・ 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会第58回大会・総会報告
- ・ 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会 学会賞報告
- ・ 令和7(2025)年度 日本仏教社会福祉学会 第59回大会案内 活動予定
- ・ 事務局から
- 令和8(2026)年度 日本仏教社会福祉学会 理事役員改選選挙について

## 日本仏教社会福祉学会

発行日：令和7(2025)年5月25日  
発行：日本仏教社会福祉学会事務局

〒260-8701

千葉県千葉市中央区大蔵寺町200  
淑徳大学

アジア国際社会福祉研究所内

日本仏教社会福祉学会事務局

TEL：043-265-9879（代）

FAX：043-265-7339

E-mail: info\_jabsws@gmail.com

## 日本仏教社会福祉学会

### 令和6(2024)年度日本仏教社会福祉学会 報告

事務局より

令和6(2024)年度は、香川県の総本山善通寺での大会開催となり、本学会として初めての四国での開催となりました。

ここに、令和6年度の活動報告をいたします。

### 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会 第1回理事・役員会報告

日時 令和6年4月27日(土) 15:00~18:00

場所 オンライン会議(ZOOM開催)

#### 1. 出席の確認(定数14)

出席 (9) 名誉会員はオブザーバー参加

代表理事 藤森雄介

理事 栗田修司 理事 長崎陽子

団体理事 宮崎牧子 団体理事 児玉龍治

団体理事 渋谷 哲

監事 山口幸照 監事 小笠原慶彰

理事 事務局 渡邊義昭

名誉会員 長谷川匡俊 名誉会員 石川到覚

名誉会員 宮城洋一郎

欠席(議長への委任 5)

理事 池上要靖 理事 清水海隆

理事 吉水岳彦 理事 郷堀ヨゼフ

団体理事 武田悟一

理事役員の過半数の出席により、理事会規定に基づき会は成立。

#### 2 審議

第1号議案：令和6(2024)年度大会について  
善通寺大会

##### 1, 開催にあたって

令和6年1月1日能登半島地震でお亡くなりになった方々に哀悼の誠をささげます。被災された皆様に衷心からのお見舞いを申し上げます。

日本仏教社会福祉学会の第58回大会は、本学会団体会員である総本山善通寺様のご協力により開催する運びとなり、大会名を「日本仏教社会福祉学会第58回大会IN善通寺」とすることに致しました。本学会にとっては、初めて四国の地での開催となります。この四国の地で育まれた四国遍路と「お接待」の文化から地域福祉への展望を図るべくシンポジウムのテーマを設定致しました。会員の皆さまのご参加をお待ち致しております。

##### 2, シンポジウム

「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

テーマ設定の理由

戦後日本の社会福祉は、アメリカとイギリスの影響を大きく受けて成立しました。その社会福祉とはいわゆるゴールデントライアングルと言われるものでした。つまり①哲学・思想②制度・政策③臨床・実践が相互に結びついて展開するということでした。確かに戦後日本の社会福祉は大きく

変革しました。そして大きく発展しました。

しかし、その三つの分野が同等に発展したかという制度・政策が先行し臨床・実践が続き哲学・思想はおいて行かれることになりました。さらに歴史・文化・仏教・地域性の分野は全くと言っていいほどに忘れ去られて来ました。

一口に日本と言っても気候、風土、県民性、言葉、食べ物など多種多様です。それぞれの地域でそれぞれが暮らしてきました。全国一律の哲学・思想や制度・政策、臨床・実践は基本的合意では有効です。だがそれぞれの地域での歴史や文化、仏教はそれぞれの地域で大きく異なっています。

そこで1990年の社会福祉関連の8法改正を嚆矢として、多くの改正を行い日本の社会福祉は、地域福祉として生まれ変わりました。

従来は、貧困者、障害者、高齢者など特定少数を対象にしていた社会福祉を、現在は自立活上対人援助を必要としている人（「バルネラビリティ」を有している人）としました。つまり、「バルネラビリティ」を有している人には、いわば地域の「駆け込み寺」が必要となりました。自分が住んでいる場所で、身近で、気軽に、気安く総合的に相談ができる「福祉アクセシビリティ」があることが地域において必要不可欠な条件となりました。

普遍的な全国一律の社会福祉からそれぞれの地域で自分たちのことは自分たちで決まるという地域福祉へと展開されるようになりました。介護保険法改正（2006年4月施行）により導入された地域包括支援センターはその流れの原型とすることができます。

戦後まもなくの日本の社会福祉・地域福祉は、現在では大きく発展してきたことは衆人の認めるところであります。しかし、宗教と福祉との関係性が諸外国では当たり前のことが、仏教と福祉との関係性は日本に全くと言っていいほどになされていません。日本の社会福祉は戦前までは仏教との関係は深く強いものでした。戦後は日本国憲法との関係もあって仏教と福祉の関係性は途切れたままになっています。だが社会福祉から地域福祉への転換をはかるなかで仏教という社会資源を無視することは得策ではなくむしろ積極的に活用することが必要となっています。そういった意味で仏教のメッカとも言えるべき善通寺での各方面からの議論に期待したいと考えます。

弘法大師空海生誕の地において今後の仏教と福祉の関係性のあり方に付いて何らかのヒントを得られれば望外の喜びとするところです。

### 3、大会スケジュール

令和6（2024）年9月13日（金）15時

理事会：善通寺いろは会館

令和6（2024）年9月14日（土）

9時00分 受付開始 善通寺遍照閣

9時30分 物故者慰霊法要

10時00分 記念講演

総本山善通寺法主 菅智潤猊下

「真言宗の福祉活動（社会福祉法人 弘善会）」

11時00分

特別講演 認定NPO法人子育てネットくすくす  
理事長 草薙めぐみ氏

「地域に根ざす多様な子育て支援活動～複合型NPOのチャレンジ～」

総合司会・講師紹介

サマヤプロジェクト代表 湯通堂法姫師

12時00分～13時30分

昼食：昼食会場 いろは会館 随時 境内参拝

13時30分～16時30分

シンポジウム：

「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

シンポジスト

善通寺信徒総代 難健二氏大先達の立場から

四国八十八ヶ所霊場会総裁 菅智潤猊下

札所寺院の立場から

認定NPO法人子育てネットくすくす

理事長 草薙めぐみ氏地域福祉の立場から

コメンテーター

種智院大学客員教授 山口幸照師

コーディネーター（司会）

サマヤプロジェクト代表 湯通堂法姫師

16時40分～17時20分 学会総会

17時30分～19時30分 懇親会 いろは会館

9月15日（日）研究発表会 いろは会館

9時 受付開始

9時30分～12時 研究発表会

### 4、大会参加費用

参加費 3000円 昼食費 1000円

懇親会費 5000円

### 5、第58回大会実行委員会（五十音順）

栗田修司 児玉龍治 佐伯俊源 長崎陽子 宮城洋一郎 山口幸照 湯通堂法姫 渡邊義昭 承認

### 第2号議案：会員の異動について

#### (1) 入会会員の承認

新村 中（新村中税理士事務所）

矢野治世美（熊本学園大学社会福祉学部）

#### (2) 退会会員の承認

1300A 泉妙子 1203A 小出享一

1159A 和田謙一郎 1108A 奈倉道隆

1167A 今村敬子 1281A 八幡嘉晃

1284A 足立隆延 1295A 宮城好郎

## (3) 会員種別の変更の承認

申し出なし

## (4) 会員数の確認 (2024. 4. 27現在)

個人会員 188会員

内訳 一般会員 162名 学生会員 8名  
 実践会員 6名 賛助会員 7名  
 名誉会員 5名

団体会員 22団体

会員総計 210会員

承認

## 第3号議案：令和5(2023)年度事業報告・決算(案)について

## 1) 決算について

藤森代表理事より、その他項目の208,266円の摘要につきまして、前年度決算済みの金額として重複している可能性があるため、証票書類などの確認を行い、秋の理事会に改めて監事監査をいただき監査報告をいたします。なお、前年度決算に変更はございません。

下記、決算書(案)参照

## 2) 令和5(2023)年度事業報告

## 1. 理事会・総会開催

## ・第1回理事・役員会

令和5年4月29日(土) 15:30~17:30

オンライン会議(ZOOM開催)

## ・第2回理事・役員会

令和5年11月4日(金) 15:00~17:00

場所：同朋大学 博聞館2階 中会議室

## 2. 年報刊行事業

・『日本仏教社会福祉学会年報』第54号

(令和6年3月末日発行)

第55号・第56号編集中

## 3. 研究助成事業

・学会賞(対象期間：令和3/1/1~令和5/12/31)

## 4. 学術大会開催事業

・令和5(2023)年度第57回学術大会(同朋大学)について

## (1) 大会テーマ：

「仏教と生命倫理・死生学、高齢福祉分野、周辺の分野」

## (2) 大会日程：

令和5(2023)年11月4日(土)~5日(日)

## (3) 大会会場：同朋大学稲葉地キャンパス

(名古屋市中村区稲葉地町7-1)

## (4) 実行委員会

大会長：目黒達哉 社会福祉学部教授

副大会長：村上逸人 同准教授

大会事務局長：岩瀬真寿美 同准教授

## (5) 記念講演及びシンポジウム

## 基調講演：

ケネス田中 武蔵野大学名誉教授

「社会に活かされるアメリカ仏教 — 死生学・高齢者福祉・エンゲージメント」

令和5(2023)年度 日本仏教社会福祉学会 収支決算書(案)

令和5年4月1日~令和6年3月31日

## 収入の部

| 項目     | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(▲)    | 摘要                                                 |
|--------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 15,000    | 4,674,666 | 4,451,420 | 令和4年度決算額                                           |
| 個人会員費  | 1,500,000 | 940,000   | -560,000  | 一般111@8,000、賛助5@5,000、実践3@5,000、学生4@3,000          |
| 団体会員費  | 660,000   | 720,000   | 60,000    | 団体22@30,000                                        |
| 貯金利息   | 1,000     | 17        | -983      | 郵貯口座利子(令和5年10月)                                    |
| 雑収入    | 50,000    | 40,140    | -9,860    | 第57回大会(同朋大学) 残金(28,890) 年報売上(1,250)、会員より寄付(10,000) |
| 収入計    | 2,226,000 | 6,374,843 | 4,148,843 |                                                    |

## 支出の部

| 項目        | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(▲)     | 摘要                                          |
|-----------|-----------|-----------|------------|---------------------------------------------|
| 大会助成費     | 400,000   | 400,000   | 0          | 第57回大会(同朋大学・名古屋)                            |
| 年報刊行費     | 1,000,000 | 0         | -1,000,000 | 年報53号(令和6年3月刊)(支払いは令和6年度)                   |
| 研究費       | 100,000   | 106,735   | 6,735      | 能登半島地震 視察(藤森・栗田・渡邊)                         |
| 会議費       | 20,000    | 7,750     | -12,250    | 理事会等開催(ZOOM開催 対面開催、打ち合わせ)                   |
| 交通費       | 70,000    | 114,630   | 44,630     | 第57回大会打ち合わせ(同朋大学・名古屋) 第58回大会打ち合わせ(普通寺・香川)   |
| 通信運搬費     | 170,000   | 36,500    | -133,500   | 郵送料・宅配料金                                    |
| 事務費       | 50,000    | 1,805     | -48,095    | 文具消耗品                                       |
| 謝金        | 360,000   | 360,000   | 0          | 事務局員謝礼(180,000×2)                           |
| 雑費        | 5,000     | 935       | -4,065     | 振込手数料                                       |
| 学術会議分担金   | 30,000    | 30,000    | 0          | 日本社会福祉学系学会連合年会費                             |
| ホームページ維持費 | 33,000    | 66,000    | 33,000     | 国際文献社(令和5年度分@33,000)                        |
| 理事選出選挙事務費 | 0         | 0         | 0          | 令和5年度選挙なし(令和7年度選挙時計上 開票業務日当(816,000×3))     |
| 予備費       | 28,000    | 38,890    | 10,890     | 慶弔等 能登半島地震被災寺院お見舞い(10,000) 第57回大会返金(28,890) |
| その他       |           | 208,266   |            | 前年度決算の可能性あり                                 |
| 支出計       | 2,266,000 | 1,371,611 | -894,389   |                                             |

## 収支総合計

| 項目     | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(▲)    |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 収入計    | 2,226,000 | 6,374,843 | 4,108,843 |
| 支出計    | 2,266,000 | 1,371,611 | -894,389  |
| 次年度繰越金 | 0         | 5,003,232 | 5,003,232 |

\* 学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

## シンポジウム：

「仏教はいかに高齢者福祉に貢献できるか」

## シンポジスト

坂井祐円氏（仁愛大学） 河村諒氏（愛知県立大学） 村上逸人氏（同朋大学）

## コーディネーター

伊東眞理子氏（東京福祉大学）

## 5. 広報事業

- ・ニューズレターの定期発行

（2回の予定 2024年1月15日 37号特別号）

## 6. 担当理事

（令和6年度より業務分担担当理事制）

- ・将来構想

担当理事 栗田修司

- 1) 会員減少に対する対策
- 2) 国際化への対応
- 3) 年報の電子化の検討

- ・国際

担当理事 郷堀ヨゼフ

- 1) アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワーク

- ・年報編集委員会・査読委員会

担当理事 長崎陽子

- 1) 年報編集・査読

- ・研究

担当理事 清水海隆

- 1) 研究助成事業

（Zoomを活用した仏教社会福祉勉強会）

- ・学会連合

担当理事 渋谷哲

- 1) 日本社会福祉学会連合窓口

日本社会福祉学会連合 総会出席 渡邊

総会開催日時：2023年6月5日（月）

Zoomにて開催

- ・大会、庶務

担当理事 渡邊義昭

第57回大会（同朋大学）開催

連絡調整及び準備

承認

## 第4号議案：学会賞について

日本仏教社会福祉学会 第8回学会賞要項より

## 1 学会賞創設の意義と目的

創立40周年を契機に、仏教社会福祉研究の一層の発展を図るため、学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰、および若手研究者の研究奨励を目的とする日本仏教社会福祉学会、学会賞を創設する。

## 2 学会賞の種類

創設の目的にてらし、学会賞は次の2種とする。

## I. 学術賞：学会員のうちで顕著な研究業績を

## げた者の顕彰

## II. 奨励賞：学会員のうちで今後の研究の発展が期待される者の奨励

## 3. 審査の対象

- ・令和3年1月1日から令和5年12月31日までに発表された研究業績を対象とする。
- ・学術賞については原則として刊行された著作物(単著・共著・編著等)を対象とする。
- ・奨励賞については著作物のみでなく、論文(共同執筆を含む)および共同研究成果物(報告書等)も対象とするが、共同執筆の場合は主著者であることを条件とする。
- ・対象となる論文は、共著の一部、学会誌、各大学の紀要、海外の専門誌などに掲載されたものとし、外国語のものを含むものとする。

## 4. 審査の手続き

学会賞の審査のため、研究担当理事を含む数名で構成する審査委員会を置く。審査委員の任期は3年を1期とし、2期を越えないものとする。審査を円滑に行うため、自薦、他薦を含め、広く学会員からの推薦を募る。

## 5. 授賞式

授賞式は令和6年度の学会総会において行う。

## 6. 経費

各賞に贈る賞金額を含む必要経費については、学会財政の状況を勘案し、寄付を募るなど引き続き検討する。

- ・学会賞審査申し込みについて

井川裕覚会員より、学会賞審査申し込みの手続きがあった。

## 1) 審査申込み書籍

『近代日本の仏教と福祉 ―公共性と社会倫理の視点から―』

出版社 法蔵館 2023年1月刊行 A5版 380頁

## 2) 学会賞審査委員会の設置について

学会賞要項に基づいて、研究担当理事を含む3名の理事役員で構成する。

## 3) 受賞式について

学会賞要項に基づいて、第58回大会（善通寺大会）の総会にて授賞式を行う。

承認

## 第5号議案：『仏教社会福祉入門』改定版について

株式会社法蔵館統括（編集長兼務）戸城三千代氏より『仏教社会福祉入門』改訂版についての提案があった。

学会として、どのような形式の改定を行うのかを含め、継続審議となった。

承認

## 第6号議案：令和6年能登半島地震など震災調査研究について

令和6年能登半島地震への現地訪問状況報告について（中間報告） 報告：渡邊義昭

女川大会でシンポジストとしてご登壇いただいた、馬目一浩氏（いわき市 阿弥陀寺 副住職 災害支援ネットワークIwaki (DSNI) 会長）から、現地支援に入る連絡を受けた。代表理事と協議し、今回現地の支援に同行するご縁を頂いた。

学会として女川大会で災害時の支援のあり方をテーマにしており、その後十分なフォローができていない中、能登半島地震の発災があり今回能登半島地域の寺院の現状と支援の取り組みについて把握するため、年間の事業計画には含まれていませんが、現地に赴いた。

・訪問期間 期間：2月16日（金）～19日（月）

・訪問者3名 藤森代表理事と渡邊は上記期間 栗田理事は2月17日～18日

・交通状況 輪島市、珠洲市など奥能登地域の道路は交通止め区間もあった、車であれば移動可能。途中、道路の崩壊や家屋の倒壊など、奥能登に向かうにつれ被害が大きくなっていった。



現地の上下水道が復旧しておらず、宿泊はできない状況であったため、富山県高岡市内で宿を取り、片道3時間近くかけて毎日往復して現地に於て状況を聞き取ることとした。

・訪問内容

2月16日（金）午前 輪島市町野地区避難所訪問（東陽中学校避難所）（藤森・渡邊）この避難所は、渡邊の本務校である東京YMCAがサポートしていることから、避難所内の見学や避難者の方とお話する機会をもらった。

町野地区にある真宗大谷派の長光寺の松岡住職（避難所で生活）と寺院の現状について聞くことができた。



2月16日（金）午後 七尾市内 浄土宗宝幢寺の高田副住職、訪問

吉水理事とのつながりで、浄土宗宝幢寺の高田副住職を紹介して頂き訪問となった。本堂は倒壊しており手つかずの状態で、発災当時の様子や宗からの支援など現状を聞いた。

輪島市や珠洲市の寺院の多くは本堂や鐘楼、庫裏の倒壊などのため住職や寺庭の多くが避難所や金沢市内避難しているなど、東日本大震災とは状況が大きく違うことが明らかになった（寺院が避難所の機能を果たせない等）。七尾市内の日蓮宗の寺院では地域住民の避難があったということは、後日確認できた。

2月17日（土）午前 能登町

藤森代表理事、渡邊の2名で、馬目一浩氏（いわき市 阿弥陀寺副住職 災害支援ネットワークIwaki (DSNI) 会長）の配食支援活動に参加した。活動拠点は、能登町立勤労青少年センター（奥能登災害支援ベース：各支援団体のベース）。昼過ぎから、能登町役場の職員（災害対応の他市、中央官庁）への夕食の配食支援の準備に入り、調理作業や弁当詰め込みなど、災害支援ネットワークの作業に参加した。役場で夕食配布（約100食）後、高岡に戻った。

能登町の小浦町議もボランティアに参加しており、町内生活状況についても聞く機会を得た。栗田理事、夜に高岡市内の宿に合流

2月18日（日）午前 能登町 珠洲市

藤森代表理事、栗田理事、渡邊の3名で、17日に配食支援準備をしているセンターで、柳田小学校と公立宇出津総合病院へ避難者への昼食を配食した。

午後、珠洲市内への被災状況を確認しましたが、ほぼすべての家屋が被災しており、地域によっては道路に面している家屋がほとんど倒壊している状況であった。

いくつかの寺院を車中からや境内に入り見ることができた。

2月19日（月）午前 輪島市門前町 総持寺

藤森代表理事、渡邊の2名で、輪島市門前町で活動しているシャンティ国際ボランティア会副会長の茅野俊幸氏（瑞松寺住職）とお話を伺うことできた。



午後に、震災後焼失した輪島朝市の状況を視察した。

現地で、宗援連（宗教者災害支援連絡会）の世話人稲場圭吾氏（大阪大学大学院教授）、島菌進氏（東京大学名誉教授）、御手洗隆明氏（真宗教化センターしんらん交流館）、矢本俊之氏（SeRv：真如苑）谷遼典氏（シャンティ国際ボランティア会）と名刺交換をした。御手洗隆明氏から、真宗大谷派能登教務所を紹介していただき、その足で午後訪問に至った。

2月19日（月） 午後

真宗大谷派能登教務所 訪問 七尾市  
藤森代表理事、渡邊の2名で、訪問し、宗の取り組みや寺院の被害状況や今後の見通しなど聞くことができた。

報告については、了承  
震災に関する調査研究について、学会としての継続調査研究については、不承認  
藤森代表理事より、女川大会（令和4年第56回大会）での、震災に関する宗派や寺院の取り組みなどをテーマとしていた。今後とも関心を持っていきたい。

第7号議案：令和7年度大会について

2025年度大会会場校として、清水理事の所属校の東京立正短期大学での開催を予定しております。開催時期については現在調整中です。実行委員会方式での開催を予定しています。  
承認

#### 4. 報告事項

1) 将来構想委担当 栗田理事

#### 1. 関係学術団体との連携について

日本仏教看護・ビハラー学会の大会案内を本学会員にしてはどうか。上記大会（本年は龍谷大学）において本学会の善通寺大会を案内することを当該学会から了承を得てはどうか。一度、まずは上記学会執行部と本学会執行部との会合を設けてはどうか。

#### 2. 年報のデータ化について

白峰社でPDF化（費用未確認）し、①本学会ホームページ上に公開する、または②J-stageなどに掲載する。①は手続きがいらないが、掲載するときの手間あり、②は手続きが必要。今後の課題としたい。

#### 3. 国際化

まずはアジア圏の関係者に口頭報告の募集をする方向で、検討をはじめてはどうか。

#### 2) 研究担当 清水理事

オンラインによる研究文献の輪読会を想定してる。担当者に候補作を依頼するところで止まっている。

以上、議案、報告の通り理事会が終了。

### 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会 第2回理事・役員会報告

日時：令和6年9月13日（金）15：00～17：00

場所：総本山善通寺 いろは会館 会議室

#### 1. 出席の確認（定数14）

出席 （9） 名誉会員はオブザーバー参加

代表理事 藤森雄介

理事 栗田修司 理事 清水海隆

理事 長崎陽子

団体理事 児玉龍治 団体理事 武田悟一

監事 山口幸照 監事 小笠原慶彰

理事 事務局 渡邊義昭

名誉会員 石川到覚

名誉会員 宮城洋一郎

欠席（議長への委任 5）

理事 池上要靖 理事 吉水岳彦

理事 郷堀ヨゼフ

団体理事 宮崎牧子 団体理事 渋谷哲

理事役員の過半数の出席により、理事会規定に基づき会は成立。

理事会開催に先立ち、代表理事より善通寺での大会開催についての謝辞があり、実行委員会を代表して宮城名誉会員より大会の概要説明があった。



## 2. 審議

### 第1号議案 会員の異動について

#### (1) 入会会員の承認

##### 新規会員

(一般会員 1名)

寺尾一彦 社会福祉法人佛子園

(学生会員 1名)

伊藤絵里 北海道大学大学院人文学専攻宗  
教学インド哲学研究室 真宗大谷

##### 派教師

#### (2) 退会会員の承認

(一般会員 2名)

A1337 内山美由紀 A1057 合田誠

#### (3) 会員数の確認 (2024. 9. 13現在)

個人会員 188会員

内訳 一般会員 161名 学生会員 9名

実践会員 6名 賛助会員 7名

名誉会員 5名

団体会員 22団体

会員総計 210会員

##### 承認

第2号議案：令和5(2023)年度事業報告(案)および令和5(2023)年度決算(案)について

事務局より、第1回理事会での報告の追記および、令和5(2023)年度決算(案)について、監査を受けたことにより改めての審議となった。

#### (1) 令和5(2023)年度事業報告(案)

##### 1. 理事会・総会開催

第1回理事・役員会 令和5年4月29日  
オンライン会議 (ZOOM開催)

第2回理事・役員会 令和5年11月3日  
同朋大学会議室にて

令和5年度総会 令和5年11月4日 同朋大学にて

##### 2. 年報刊行事業

『日本仏教社会福祉学会年報』第53号 年度内刊行

##### 3. 研究助成事業

・第8回学会賞募集

(対象期間：令和3/1/1～令和5/12/31)

・令和6年能登半島地震など震災調査研究  
令和6年2月16日～19日現地調査

##### 4. 学術大会開催事業

・第57回学術大会

大会テーマ：仏教的死生観の現代的意義

大会日程 2023(令和5年)年

11月4日(土)・5日(日)

大会会場 同朋大学(名古屋市中村区)

##### 5. 広報事業

・ニュースレターの定期発行

(第37号 2024(令和6年)年1月15日)

・令和6年能登半島地震について

～被害に遭われた皆様へ～2024(令和6年)年1月15日

##### 6. 担当理事

・年報編集委員会・査読委員会 担当理事 長崎陽子

◎令和5年度 活動況報告：

1 『年報』54号の発行について。応募原稿に関しては 第二稿を印刷所に提出済み、その他機関誌編集委員会 規程における修正、条文付加を印刷所に依頼済み。

2 『年報』55号、応募原稿について査読依頼中

・学会連合 担当理事 渋谷哲

日本社会福祉学会連合 総会出席 (Zoom)

総会開催日時：2023年

6月5日(月) 18:30～19:30

・大会、庶務 担当理事 渡邊義昭

第58回大会開催連絡調整及び準備

実行委員会形式で準備

大会開催事前打合せ 宮城名誉会員、山口監事  
 総本山善通寺にて  
 大会開催打合せ 令和5(2023)年12月1日  
 藤森代表理事 栗田理事 渡邊事務局長  
 総本山善 通寺にて  
 大会実行委員会打合せ  
 種智院大学にて実施

## (2) 令和5(2023)年度決算(案)

### ・監査報告について

小笠原監事より、下記のとおり報告があった。

日本仏教社会福祉学会

令和5年度 会計監査報告書

令和6年 9月3日

日本仏教社会福祉学会

令和5年度 代表理事 藤森 雄介 様

日本仏教社会福祉学会令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の会計の収支決算書について、帳簿、預金通帳等の関係書類により監査を行った結果、いずれも正確に記帳並びに処理されているものと認める。

監査実施日 令和6年9月3日

監査実施場所 関西福祉科学大学

小笠原研究室

監事 小笠原慶彰 監事 山口幸照

(決算案については、本ページに掲載)

承認

第3号議案 令和7(2025)年度事業計画(案)および令和7(2025)年度予算(案)について

## (1) 令和7(2025)年度事業計画(案)

### 1. 理事会・総会開催

- ・第1回理事・役員会 令和7年4月26日 予定

オンライン会議(ZOOM開催)

- ・第2回理事・役員会 令和7年9月5日 予定

- ・令和7年度総会 令和7年9月6日 予定

### 2. 年報刊行事業

- ・『日本仏教社会福祉学会年報』発行

### 3. 研究助成事業

- ・仏教社会福祉勉強会の開催

- ・第9回学会賞募集

(対象期間：令和6/1/1～令和8/12/31分)

### 4. 学術大会開催事業

- ・第58回学術大会 開催 準備

### 5. 広報事業

- ・ニュースレターの定期発行(2回)

令和5(2023)年度 日本仏教社会福祉学会 収支決算書(案)  
 令和5年4月1日～令和6年3月31日

#### 収入の部

| 項目     | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(-)    | 摘要                                               |
|--------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 15,000    | 4,674,686 | 4,451,420 | 令和4年度決算額                                         |
| 個人会員費  | 1,500,000 | 840,000   | -560,000  | 一般111@8,000、賛助5@5,000、実践3@5,000、学生4@3,000        |
| 団体会員費  | 660,000   | 720,000   | 60,000    | 団体22@30,000(24口)                                 |
| 貯金利子   | 1,000     | 17        | -983      | 郵貯口座利子(令和5年10月)                                  |
| 雑収入    | 50,000    | 40,140    | -9,860    | 第57回大会(同朋大学)残金(28,890)年報売上(1,250)、会員より寄付(10,000) |
| 収入計    | 2,226,000 | 6,374,843 | 4,148,843 |                                                  |

#### 支出の部

| 項目        | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(-)     | 摘要                                         |
|-----------|-----------|-----------|------------|--------------------------------------------|
| 大会助成費     | 400,000   | 400,000   | 0          | 第57回大会(同朋大学・名古屋)                           |
| 年報刊行費     | 1,000,000 | 0         | -1,000,000 | 年報53号(令和6年3月刊)(支払いは令和6年度)                  |
| 研究費       | 100,000   | 106,735   | 6,735      | 能登半島地震 視察(藤森・栗田・渡邊)                        |
| 会議費       | 20,000    | 7,750     | -12,250    | 理事会等開催(ZOOM開催 対面開催、打ち合わせ)                  |
| 交通費       | 70,000    | 114,630   | 44,630     | 第57回大会打ち合わせ(同朋大学・名古屋)第58回大会打ち合わせ(善通寺・香川)   |
| 通信運搬費     | 170,000   | 36,500    | -133,500   | 郵送料・宅配料金                                   |
| 事務費       | 50,000    | 1,905     | -48,095    | 文具消耗品                                      |
| 謝金        | 360,000   | 360,000   | 0          | 事務局員謝礼(@120,000×3)                         |
| 雑費        | 5,000     | 935       | -4,065     | 振込手数料                                      |
| 学術会議分担金   | 30,000    | 30,000    | 0          | 日本社会福祉学系学会連合年会費                            |
| ホームページ維持費 | 33,000    | 66,000    | 33,000     | 国際文献社(令和5年6年度分@33,000)                     |
| 理事選出選挙事務費 | 0         | 0         | 0          | 令和5年度選挙なし(令和7年度選挙時計上 開票業務日当(810,000×3))    |
| 予備費       | 28,000    | 38,890    | 10,890     | 慶弔等 能登半島地震被災寺院お見舞い(10,000)第57回大会返金(28,890) |
| 支出計       | 2,266,000 | 1,163,345 | -1,102,655 |                                            |

#### 収支総合計

| 項目     | 令和5年度予算   | 令和5年度決算   | 増・減(-)     |  |
|--------|-----------|-----------|------------|--|
| 収入計    | 2,226,000 | 6,374,843 | 4,148,843  |  |
| 支出計    | 2,266,000 | 1,163,345 | -1,102,655 |  |
| 次年度繰越金 | 0         | 5,211,498 | 5,211,498  |  |

\* 学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

## 令和7(2025)年度 日本仏教社会福祉学会 予算書(案)

収入の部

第2回理事会提出

| 項目     | 令和7年度予算   | 令和6年度予算   | 増・減(-)  | 摘要                                        |
|--------|-----------|-----------|---------|-------------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 250,000   | 250,000   | 0       |                                           |
| 個人会員費  | 1,380,000 | 1,433,000 | -53,000 | 一般161@8,000、賛助7@5,000、実践6@5,000、学生9@3,000 |
| 団体会員費  | 660,000   | 660,000   | 0       | 団体22@30,000                               |
| 貯金利子   | 100       | 100       | 0       | 郵貯口座利子(10月、4月)                            |
| 雑収入    | 100,000   | 100,000   | 0       | 年報売上                                      |
| 収入計    | 2,390,100 | 2,443,100 | -53,000 | 会員数減少のため                                  |

支出の部

| 項目        | 令和7年度予算   | 令和6年度予算   | 増・減(-)   | 摘要                                |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------------------------------|
| 大会助成費     | 400,000   | 400,000   | 0        | 第59回大会助成 関東での開催                   |
| 年報刊行費     | 1,000,000 | 1,000,000 | 0        | 年報56号編集経費                         |
| 研究費       | 100,000   | 100,000   | 0        | 助成                                |
| 会議費       | 20,000    | 20,000    | 0        | 理事会等開催(Zoom開催 対面開催)               |
| 交通費       | 100,000   | 70,000    | 30,000   | 第59回大会打ち合わせ                       |
| 通信運搬費     | 200,000   | 170,000   | 30,000   | 郵送料・宅配料金(年報・ニュースレター・大会案内:郵便料金値上げ) |
| 事務費       | 50,000    | 50,000    | 0        | 文具消耗品                             |
| 謝金        | 360,000   | 360,000   | 0        | 事務局員謝礼                            |
| 雑費        | 5,000     | 5,000     | 0        | 振込手数料                             |
| 学術会議分担金   | 30,000    | 30,000    | 0        | 日本社会福祉学系学会連合年会費                   |
| ホームページ維持費 | 33,000    | 33,000    | 0        | 国際文献社                             |
| 理事選挙      | 50,000    | 0         | 50,000   | 理事選挙 通信費 選挙経費謝金など                 |
| 学会賞       | 0         | 150,000   | -150,000 | 学会賞奨励賞 関連経費 3年に一度 次回令和9年度表彰       |
| 予備費       | 42,100    | 55,100    | -13,000  | 慶弔等                               |
| 支出計       | 2,390,100 | 2,443,100 | -53,000  |                                   |

収支総合計

|        | 令和7年度予算   | 令和6年度予算   | 増・減(-)  |  |
|--------|-----------|-----------|---------|--|
| 収入計    | 2,390,100 | 2,443,100 | -53,000 |  |
| 支出計    | 2,390,100 | 2,443,100 | -53,000 |  |
| 次年度繰越金 | 0         | 0         | 0       |  |

\* 学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

## (2) 令和7(2025)年度予算(案)について

事務局より、令和7(2025)年度予算難について説明があった。令和7年度は理事役員の改選年度であり、理事選挙・通信費・選挙経費謝金などとして、5万円の予算を計上した。また、大会打ち合わせなどに関連する経費、郵送料・宅配料金(年報・ニュースレター・大会案内)については、宅配料金や郵便料金の値上げに伴い、前年度比それぞれ3万円の増額とした。

その他の支出項目については、前年度と同額の予算とした。

(予算案については、本ページに掲載)

承認

第4号議案：令和6(2024)年度第58回学術大会について

実行委員会を代表して宮城名誉会員から、大会の趣旨や全体の流れについて説明があった。

第1日目 9月14日(土)

総本山善通寺 遍照閣

- ・ 9月14日の受付は総本山善通寺遍照閣 1F
- 9時00分 受付開始
- 9時30分 物故者慰霊法要
- 導師 総本山善通寺法主 菅智潤猊下
- 10時00分 記念講演

総本山善通寺法主 菅智潤猊下  
「真言宗の福祉活動—含、社会福祉法人弘善会」  
11時00分 特別講演  
認定NPO法人子育てネットくすくす  
理事長 草薙めぐみ氏  
「地域に根ざす多様な子育て支援活動～複合型NPOのチャレンジ～」  
総司会・講師紹介  
NPO法人Samayaプロジェクト21副理事長  
湯通堂法姫師  
12時00分～13時30分 昼食休憩  
昼食会場 いろは会館 随時境内参拝  
13時30分～16時30分 シンポジウム 遍照閣  
テーマ： 四国遍路・「お接待」・地域福祉  
シンポジスト(発題順)  
善通寺信徒総代 灘健二氏  
「大先達の立場から」  
四国八十八ヶ所霊場会総裁 菅智潤猊下  
「札所寺院の立場から」  
認定NPO法人子育てネットくすくす理事長  
草薙めぐみ氏 「地域福祉の立場から」  
コメンテーター  
種智院大学客員教授 山口幸照師  
コーディネーター(司会)  
NPO法人Samayaプロジェクト21副理事長  
湯通堂法姫師  
16時40分～17時20分  
日本仏教社会福祉学会総会  
17時30分～19時30分

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>懇親会 いろは会館 1F 食堂にて</p> <p>第2日目 9月15日(日)</p> <p>研究発表会 いろは会館・3階 大広間</p> <p>承認</p> <p>第5号議案：令和7(2025)年度第59回学術大会について</p> <p>東京での開催を予定 会場および日程について事務局より説明があった。また、大会開催校の清水理事より、概要の説明があった。</p> <p>令和7(2025)年度 日本仏教社会福祉学会<br/>第59回学術大会 (開催案・仮)</p> <p>1. テーマ (検討中)</p> <p>2. 期間 令和7(2025)年9月6日(土)～7日(日)</p> <p>9/5(金) 午後 理事会<br/>9/6(土) 午前 物故者法要・<br/>開会式・基調講演<br/>午後・シンポジウム・総会<br/>9/7(日) 午前 研究発表<br/>設置者「本山堀之内妙法寺」<br/>参拝(1時間程度)</p> <p>3. 会場 東京立正短期大学(学校法人堀之内学園)<br/>東京都杉並区堀ノ内2-41-15<br/>最寄り駅 地下鉄・丸の内線「新高円寺」<br/>より徒歩10-15分<br/>中央線「高円寺」よりタクシー</p> <p>4. 担当 清水海隆(東京立正短期大学)</p> <p>承認</p> <p>第6号議案：学会賞について</p> <p>・日本仏教社会福祉学会第8回学会賞<br/>対象研究審査報告<br/>審査委員会を代表して、委員長清水海隆(研究担当理事)より審査報告があった。<br/>審査委員会<br/>委員長(研究担当理事) 清水海隆<br/>委員 栗田修司 委員 藤森雄介</p> <p>I. 審査対象研究<br/>『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から—』</p> | <p>著者 井川裕覚会員</p> <p>出版社 株式会社法蔵館 発行日 2023年1月27日</p> <p>II. 研究の概要</p> <p>本書は著者である井川裕覚氏が上智大学へ提出した博士学位請求論文「近代日本における仏教社会事業の公共的役割と社会倫理」に加筆修正を施して出版されたものであり、その構成は、次の通りである。</p> <p>序 章 近代日本の福祉をめぐる公共空間と仏教</p> <p>第I部 子どもをめぐる社会福祉活動と宗教</p> <p>第一章 瓜生イワの慈善事業と「福祉思想」—「人間性の尊重」と仏教倫理</p> <p>第二章 明治期における仏教倫理の展開と仏教社会福祉活動—福田会育児院の養護実践と女性の関与—</p> <p>第三章 明治期のキリスト教的社会福祉活動の公共的機能—石井十次の岡山孤児院、留岡幸助の監獄改良と家庭学校—</p> <p>第II部 セツルメントの発展と浄土宗社会派による仏教社会福祉活動</p> <p>第四章 渡辺海旭による仏教社会事業の公共的機能—ドイツ型セツルメントと共済思想</p> <p>第五章 長谷川良信のセツルメントにおける教育的側面と社会倫理—大正期における「感恩愛人」の思想と実践—</p> <p>結章 近代日本における仏教と福祉</p> <p>各章の概要は、序章では、仏教が近世以降に取り組んだ貧困支援等の社会的実践活動を広い意味での「仏教社会福祉」と捉えた上で、「明治維新によって公的な役割を失った仏教関係者が、国家や政府・行政に積極的に働きかけ、痛みや苦難を背負いがちな人々の支援に貢献したという点で、近代日本の社会福祉領域で公共的な機能を担おうとしたと見ることもできる」との視点を明示し、宗教と公共空間に関する議論についての先行研究を丁寧に読み込み、「公的空間」と「私的空間」の間に成立する「公共空間」のうち、社会福祉領域に焦点を当ててその「福祉をめぐる公共空間」の形成過程に宗教がいかなる関わりを持ったのかという点への注目に至ったのかについて、その道筋を論じている。</p> <p>第一章では、瓜生イワの社会福祉活動を取り上げ、その初動から「生活者の視点」があり、また、</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

その「実践の中に「人間性の尊重」という近代的な「福祉思想」の萌芽が見られ、それが関係者によって仏教の福田思想や衆生恩思想として表現されたことは特筆に値する」とし、明治20年代の地域レベルで、福祉をめぐる公共空間の萌芽があったと評価している。

第二章では、福田会育児院活動に福田思想や衆生恩思想を見出し、中でも恵愛部の設置という女性の社会福祉活動に焦点化している。さらに従来の研究では避けられていた日々の社会福祉活動を実施的に支えてきた保母を取り上げたことや、対象を「救われる者」から「共に生きる者」へと転換させた点を把握したことは、今後の歴史研究の方向性を示す点で重要な指摘である。

第三章では、仏教社会福祉活動が、キリスト教徒からの影響を受けつつ仏教の活動を模索していた点を取り上げ、キリスト教徒として明治期の慈善事業に確かな事績を残した石井十次と留岡幸助を取り上げて、比較的な分析を行っている。後段の第Ⅱ部では、大正期から昭和戦前期にかけてセツルメントの発展と展開の側面から、「浄土宗社会派」と呼ばれる二人の人物の仏教社会福祉活動について、分析を行っている。

第四章では、福祉領域で先駆的な取り組みを行った渡辺海旭を取り上げ、社会問題の解決を図るうえで、信仰に基づく自律した宗教の参与が構想されているとする。社会問題が拡大する時代に、「共済主義」を公共圏に示したことや、福祉領域で宗教の公共的機能の拡充をさせようとしたとしている。

次いで、第五章では長谷川良信を取り上げ、そのセツルメントを感恩愛人および社会改良主義の視点から検討し、「漸進的社会主義」の立場から社会事業に取り組んでいたことを示している。その上で、女子教育に特化した事業展開について、その独自性を評価している。

最後に、結章においては、改めて本研究の全体像を整理した上で、「本書が示した新たな視座」として、①仏教福祉活動と国家・近代社会との関連、②近代仏教史と社会福祉史の接点―「生の視点」という眼差し、③近代日本における社会福祉の公共性、④社会福祉の歴史における女性の役割、の4点をあげて、本研究の意義を示しているのである。

### Ⅲ. 講評

井川氏が本研究で取り上げた瓜生イワ、石井十次、留岡幸助、渡辺海旭、長谷川良信といった主

要人物達は、わが国社会福祉史研究において、すでにそれぞれ複数の先行研究がなされ、一定の評価が行われている人物たちである。

本研究で井川氏は、このような研究対象を、「仏教社会福祉活動を近代日本における仏教の公共空間への参与の一形態とみなし、近代日本の福祉をめぐる公共空間の形成過程において仏教がいかなる機能を担ったか、その活動を支えた社会倫理思想とは何かという視座」で見つめ直し、これらの人物のこれまで見えてこなかった側面や気づきがなされていなかった点を明確にしたものであると言える。このことは、本研究が社会福祉の「歴史研究」でると同時に、ここで問われた「公共性」というフレームは大いに現代的意義を持つものであるともいえるのである。

以上、総合的に判断して、本研究はその斬新性、新規性、緻密性、合理的検討及び日本語の表現法のいずれにおいても優れているものとかんがえられるものである。それ故、本審査委員会は日本仏教社会福祉学会学会賞「学術賞」を授賞するにふさわしい研究であるとの評価するものである。

### Ⅳ. 付記

審査委員会としては、井川氏が本研究の意義とするうちの「④社会福祉の歴史における女性の役割」に関して、尼僧ならびに市井の女性の活躍など一層の研究を進められ、本学会において公表されることを望むものである。

### 以上

委員長の報告の報告に基づいて、理事会として、日本仏教社会福祉学会学会賞「学術賞」を授賞するにふさわしい研究であると承認された。

学会総会で表彰式を行うことになっていたが、井川会員が法務のため出席できない連絡を受けていたため、改めて授賞式および報告の場を設けることとした。

### 第6号議案：その他

#### 1) 『仏教社会福祉入門』について

代表理事より、『仏教社会福祉入門』に関する打合せについての経過説明があった。

日 程：2024年9月3日 15:30～16:30

出席者：法蔵館から、戸城氏

本学会から、藤森代表理事、栗田理事

打合せ要点：・2014年の刊行から約10年を経て初版

在庫も無くなり、類似の書籍もない本書について、何等かの形で刊行を続けていく意義はあると考える。ただその際には、単なる「重版」ではなく、以下の4点 の形が考えられる。

#### ①「大幅改訂」

・時代に合わせて章立てや内容を抜本的に見直して、実質まったく新しい『入門』を刊行する。

→ 学会として新たな刊行委員会を立ち上げて、学会として時間と手間をかけて刊行に向けて精力的に活動を行っていく覚悟が必要となる。

#### ②「中規模改訂」

・現状のフレームは残しながらも時代の状況に合わせて 新たな項目や既存原稿の加筆修正を行い、「増補新版」や「令和版」といった形での『入門』を刊行する。

→ どの程度手を入れるのかにもよるが、やはり検討委員会レベルの組織は必要であり、関係者の一定以上の負担は覚悟する必要がある。

#### ③「小規模改訂」

・必要最低限の加筆修正に止め、「改訂版」レベルの『入門』を刊行する。

→ 実質的に、あまり新鮮味の無いものになってしまう可能性がある。

#### ④「改訂せず」

実質的には「絶版」である。

課題：

・①②を選択した場合、見直し内容によっては新たな費用が必要となる可能性がある。(法蔵館の見立てでは、例えば②の場合50万円の出版助成があれば問題ないとの事)

・前回の経験から、各執筆者への原稿の督促や加筆修正作業に多くのエネルギーが割かれており、その意味で実務担当者は相当の労力が求められると思われる。それだけの手間をかけて行う必要があるか否かは、学会としての判断が求められる。

理事会として、改定の方で進めていくが具体的にどのように取り組むかを継続審議していくことで確認をした。

### 3. 報告事項

#### (1) 各担当理事報告

・年報編集委員会・査読委員会

報告者名：長崎陽子

令和6年度 事業・活動予定

① 『年報』54号発行を、年内発刊をめざす。

② 『年報』55号発行についての編集を進めること(図書紹介、施設紹介等含む)。

③ 年報編集委員会の開催(9月15日)。

④ 論文執筆のためのサポート体制など、広報に関しての引き継ぎ。

備考：

『年報』54号に編集規定に条文「投稿者は、当該に投稿した論文等を〈掲載可〉とする連絡を受けたのちは、投稿論文を本年報に〈掲載予定〉である旨を記載できる(文案)」を付加することを編集委員で検討、決定したことによって、第54号に記載を印刷所に連絡済み。

検討事項：昨今の電子化を鑑みて、当学会も投稿原稿をメールで受け付けること(投稿原稿の電子化)を可能とするかどうか？

※可能となれば、種々の規定(送付先、使用ソフト、注釈の付け方など)を検討・設定した上で内容を投稿規定に付加する。

・将来構想に関して

(副代表理事の担当) 栗田修司

#### 1. 他関連学会との連携について

日本仏教看護・ビハーク学会(龍谷大学大宮学舎、6月22日—23日)にて本学会香川(総本山善通寺)大会の案内をさせていただいた。

#### 2. アジアの仏教社会福祉活動等との連携について

郷堀先生と継続検討していく。

#### 3. 年報の電子化について

長崎先生を通じて、年報編集委員会で検討していただいている。。

#### (2)事務局報告

・第8回学会賞 表彰について

表彰式は、別途実施を予定している。

議長より、質疑や発言を求めたが特に発言はなく、終了時間になり17:00理事会を終了とした。

## 日本仏教社会福祉学会 令和6(2024)年度 総会

### 議事報告



日時：令和6年9月14日（土）16：40～17：20  
場所：総本山善通寺 遍照閣

#### 1. 議長の選出

総会規定に基づき、児玉理事を議長に選出した。

#### 2. 議案

第1号議案：令和5(2023)年度事業報告および令和5(2023)年度決算について

(1)令和5(2023)年度事業報告

(2)令和5(2023)年度決算

事務局より、令和5(2023)年度事業報告があった。また、令和5(2023)年度決算について小笠原監事より説明がなされた。事務局より、理事会での審議内容について報告があった。

賛成多数 承認

第2号議案：令和7(2025)年度事業計画および令和7(2025)年度予算について

(1)令和7(2025)年度事業計画

(2)令和7(2025)年度予算

事務局より、令和7(2025)年度事業計画および令和7(2025)年度予算について説明があった。

事務局より、理事会での審議内容について報告があった。

賛成多数 承認

第3号議案：第8回学会賞について

審査委員会を代表して、委員長清水海隆（研究担当理事）より審査報告があった。

日本仏教社会福祉学会学会賞「学術賞」を井川裕覚会員の『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から—』を授賞するにふさわしい研究であると説明があった。理事会においても委員長報告の通り承認された。

なお、授賞式は令和6年度の学会総会において行うことになっていたが、法務のため出席が叶わず、別の機会を設け授賞式、論文報告を行うことにする。

賛成多数 承認

### 日本仏教社会福祉学会学会賞「学術賞」

#### 著作名

『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から—』 発行2023/1/27 380ページ

著者 井川 裕覚会員

#### ・著者紹介

1985年奈良県生まれ。大阪市立大学経済学部卒業、2021年上智大学大学院実践宗教学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。専門は宗教社会学・仏教社会福祉史・死生学・臨床スピリチュアルケア。

主な論文に、「スピリチュアルケアにおける宗教性の役割—

臨床宗教師による「宗教的資源の活用」の検討—」

（『スピリチュアルケア研究』第4号、2020年）、

「仏教社会事業史からみた「福祉をめぐる公共空間」と社会倫理」（社会事業史学会創立50周年記念論文集刊行委員会編『社会事業史学会創立50周年記念論文集 戦後社会福祉の歴史研究と方法—継承・展開・創造—』第1巻〈思想・海外〉、近現代資料刊行会、2022年）など。



### 【日本仏教社会福祉学会 第8回学会賞要項より】

#### 1 学会賞創設の意義と目的

創立40周年を契機に、仏教社会福祉研究の一層の発展を図るため、学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰、および若手研究者の研究奨励

励を目的とする日本仏教社会福祉学会、学会賞を創設する。

## 2 学会賞の種類

創設の目的にてらし、学会賞は次の2種とする。

I. 学術賞：学会員のうちで顕著な研究業績をあげた者の顕彰

II. 奨励賞：学会員のうちで今後の研究の発展が期待される者の奨励

## 3. 審査の対象

・令和3年1月1日から令和5年12月31日までに発表された研究業績を対象とする。

・学術賞については原則として刊行された著作物(単著・共著・編著等)を対象とする。

・奨励賞については著作物のみでなく、論文(共同執筆を含む)および共同研究成果物(報告書等)も対象とするが、共同執筆の場合は主著者であることを条件とする。

・対象となる論文は、共著の一部、学会誌、各大学の紀要、海外の専門誌などに掲載されたものとし、外国語のものを含むものとする。

## 4. 審査の手続き

学会賞の審査のため、研究担当理事を含む数名で構成する審査委員会を置く。審査委員の任期は3年を1期とし、2期を越えないものとする。審査を円滑に行うため、自薦、他薦を含め、広く学会員からの推薦を募る。

## 5. 授賞式

授賞式は令和6年度の学会総会において行う。

## 6. 経費

各賞に贈る賞金額を含む必要経費については、学会財政の状況を勘案し、寄付を募るなど引き続き検討する。

## 参考

【日本仏教社会福祉学会 第9回学会賞に向けて】  
審査の対象

・2024(令和6)年1月1日から2026(令和8)年12月31日までに発表された研究業績を対象とする。

## 3. 報告事項

### (1) 会員の異動について

#### 1) 入会会員の承認

新村 中氏 一般会員  
新村中税理士事務所

矢野治世美氏 一般会員  
熊本学園大学社会福祉学部

寺尾一彦 一般会員 社会福祉法人佛子園

伊藤絵里 学生会員 北海道大学大学院人文学

専攻宗教学インド哲学研究室  
真宗大谷派教師

#### 2) 退会会員の承認

|             |            |
|-------------|------------|
| 1300A 泉妙子   | 1203A 小出享一 |
| 1159A 和田謙一郎 | 1108A 奈倉道隆 |
| 1167A 今村敬子  | 1281A 八幡嘉晃 |
| 1284A 足立隆延  | 1295A 宮城好郎 |
| 1337A 内山美由紀 | 1057A 合田誠  |

#### 3) 会員種別の変更の承認

申し出なし

#### 4) 会員数の確認 (2024. 9. 14現在)

個人会員 188名  
一般会員 A 161名  
学生会員 G 9名  
実践会員 J 6名  
賛助会員 S 7名  
名誉会員 M 5名

団体会員 22団体

会員総計 210会員

#### (2) 『仏教社会福祉入門』について

代表理事より、経過説明があった。理事会として、改定の方角で進めていくが具体的にどのように取り組むかを継続審議していくことで確認をしたことについて報告された。

#### (3) 令和7(2025)年度第59回学術大会について

東京での開催を予定 大会開催校の清水理事より、会場および日程について説明があった。

令和7(2025)年度 日本仏教社会福祉学会  
第59回学術大会 (開催案・仮)

#### 1. テーマ (検討中)

#### 2. 期間

令和7(2025)年9月6日(土)～7日(日)

9/5(金) 午後 理事会

9/6(土) 午前 物故者法要・

開会式・基調講演

午後・シンポジウム・総会

9/7(日) 午前 研究発表

設置者「本山堀之内妙法寺」参拝

#### 3. 会場 東京立正短期大学(学校法人堀之内学園)

東京都杉並区堀ノ内2-41-15

最寄り駅 地下鉄・丸の内線「新高円寺」

より徒歩10-15分

中央線「高円寺」よりタクシー

#### 4. 担当 清水海隆(東京立正短期大学)

### (3) 各担当理事報告

・年報編集委員会・査読委員会

報告者名:長崎陽子

令和6年度 事業・活動予定

- ① 『年報』54号発行を、年内発刊をめざす。
- ② 『年報』55号発行についての編集を進めること。(図書紹介、施設紹介等含む)
- ③ 年報編集委員会の開催(9月15日)
- ④ 論文執筆のためのサポート体制など、広報に関しての引き継ぎ。

・備考:

『年報』54号に編集規定に条文「投稿者は、当該に投稿した論文等を〈掲載可〉とする連絡を受けたのちは、投稿論文を本年報に〈掲載予定〉である旨を記載できる(文案)」を付加することを編集委員で検討、決定したことによって、第54号に記載を印刷所に連絡済み。

検討事項:昨今の電子化を鑑みて、当学会も投稿原稿をメールで受け付けること(投稿原稿の電子化)を可能とするかどうか?

※可能となれば、種々の規定(送付先、使用ソフト、注釈の付け方など)を検討・設定した上で内容を投稿規定に付加する。

・将来構想に関して

(副代表理事の担当)栗田修司

#### 1. 他関連学会との連携について

日本仏教看護・ビハラー学会(龍谷大学大宮学舎、6月22日―23日)にて本学会香川(総本山善通寺)大会の案内をさせていただいた。

2. アジアの仏教社会福祉活動等との連携について 郷堀先生と継続検討していく。

#### 3. 年報の電子化について

長崎先生を通じて、年報編集委員会で検討していただいている。

### (2)事務局報告

・第8回学会賞 表彰について

令和7(2025)年度 日本仏教社会福祉学会第59回学術大会の総会で、授賞式および報告会を実施したい。

議長より審議事項、報告事項について質疑を促した。会員からの発言がなく、17:20終了。

### 令和6(2024)年度 日本仏教社会福祉学会 第58回大会IN善通寺



第1日目 9月14日(土)

総本山善通寺遍照閣

11 9時30分

物故者慰霊法要 導師

総本山善通寺法主菅智潤猊下



10時00分 記念講演

総本山善通寺法主 菅 智潤 猊下

「真言宗の福祉活動一含、社会福祉法人 弘善会」





11時00分  
特別講演  
認定NPO法人 子育てネットくすくす

理事長  
草薙めぐみ氏

「地域に根ざす多様な子育て支援活動  
～複合型NPOチャレンジ～」

13時30分～16時30分 シンポジウム 遍照閣  
テーマ： 四国遍路・「お接待」・地域福祉  
シンポジスト（発題順）

善通寺信徒総代 灘健二氏「大先達の立場から」  
四国八十八ヶ所霊場会総裁 菅智潤 猊下  
札所寺院の立場から」  
認定NPO法人子育てネットくすくす理事長  
草薙めぐみ氏  
「地域福祉の立場から」



コーディネーター

（司会）NPO法人Samayaプロジェクト21

副理事長 湯通堂法姫師

コメンテーター 種智院大学客員教授山口幸照師



「週刊 佛教タイムス」に善通寺大会の記事が掲載されました 2024年10月10日 第3053号

仏教社会福祉学会第58回大会

## 善通寺の社会事業 濟世利人が柱

遍路とお接待文化、地域福祉に貢献

松市の120年を超える活動を中心に、「真言宗の福祉活動」について記念講演。孤児院から高齢者福祉までの地域に根ざした近現代仏教福祉の歩みを追った。

密教仏道と同時に社会活動にも力を尽くした弘法大師と善通寺から名付けられた弘善会は、「濟世利人」を活動の柱としている。

今後の課題として、「善通寺派の僧侶職員の減少」を挙げ、4人。介護職員の慢性的な不足が続いている」と指摘。「人材紹介会社からの採用が増加し、紹介手数料が1千万円弱。外国人技能実習生の受け入れ、ウェブメディア等による求人増やしている」と説明した。

認定NPO法人「くすくす」の草薙めぐみ理事長が、「地域に根ざす多様な子育て支援活動」複合型NPOのチャレンジ」と題して特別講演。

当事者らが自ら地域子育て支援を去り出している。障がいのある子にかわる子育てがともに子育てを築く学び合いの支え合い活動を展開して令和元年に子ども食堂を開始したがコロナ禍で閉鎖し、翌年ひとり親や経済困難家庭を対象とした「食を届けるハンドリー活動」を始めると、善通寺から毎月お米が提供され、善通寺市仏教会からはクリスマスのお菓子が贈られた。「お接待文化が地域全体の支え合いに繋がり、子育て家庭の孤立と虐待防止につながると感謝。多職種・多機関連携による長期的な午後から、仏教と福祉の関係性を結び直すシンポジウム四国遍路・「お接待」・地域福祉」を美鷹 仏教という古代からの社会資源の現代的な活用について討議した。

灘健二・善通寺信徒総代が、「大先達の立場から四国遍路のトイレ改善・スロープ設置活動を報告。菅法主は四国八十八ヶ所霊場会総裁として「札所寺院の立場から、草薙氏は「地域福祉の立場から」発題し、参拝文化と地域が繋がる共生社会を提起した。

善通寺の福祉活動について講演する菅法主



16時40分～17時20分 日本仏教社会福祉学会総会  
17時30分～19時30分 懇親会 いろは会館

第2日目 9月15日(日) 研究発表会 報告  
いろは会館・3階 大広間



### 日本仏教社会福祉学会 令和7(2025)年度 第1回理事・役員会

日時：令和7年4月26日(土) 15:00～17:00  
場所：オンライン会議 (Zoom)

前半 司会 栗田修司：龍谷大学

9時30分～

張 白璐：龍谷大学

中国終末期ケアにおけるソーシャルワークのスピ  
リチュアルケアの探求—仏教との融合の可能性—

10時00分～

宮本雄司：琴平町役場、明願寺(真宗大谷派)  
老いた私の生きる意味は何？

—支援とは何か？と気づき、人生を築く—

10時30分～

佐伯典彦：居宅介護支援事業所ハッピーウッド  
不安神経障害に悩むA氏の支援についての考察  
～「あかんたれ」の自分からの卒業～

後半 司会 長崎陽子：龍谷大学

11時05分～

馬場康德：城西国際大学総合福祉学部  
総合福祉学科

「つながり」をつくる寺院の課題と可能性

11時35分～ 児玉龍治：龍谷大学

仏教とカウンセリングの関係についての一考察  
—親鸞の人間観とロジャーズの人間観との比  
較検討を通して—

12時05分～ 佐伯俊源：種智院大学

仏教と土木事業をめぐる歴史的視座

1. 定足数の確認 事務局より出席状況確認

1. 出席の確認(定数14)

出席 (10) 名誉会員はオブザーバー参加

代表理事 藤森雄介

理事 栗田修司

理事 清水海隆

理事 長崎陽子

理事 郷堀ヨゼフ

理事 池上要靖

団体理事 児玉龍治

団体理事 宮崎牧子

監事 小笠原慶彰

理事 事務局 渡邊義昭

名誉会員 石川到覚

名誉会員 宮城洋一郎

欠席(議長への委任 4)

理事 吉水岳彦

団体理事 武田悟一

団体理事 渋谷哲

監事 山口幸照

理事役員の過半数の出席により、理事会規定に  
基づき会は成立。

理事会開催に先立ち、実行委員会を代表して宮  
城名誉会員より大会の終了報告があった。

理事会規定により代表理事を議長として選出。

第1号議案：会員の異動について

(1)入会会員の承認

一般会員

元村智明 東北福祉大学総合福祉学部 准教授

学生会員

工藤龍人 東北福祉大学大学院  
総合福祉学研究科修士課程

(2)退会会員の承認

一般会員

A1289 浅沼太郎

団体会員

D1008 淑徳大学短期大学部（大乘淑徳学園）

(3)会員種別の変更の承認

学生会員から一般会員へ変更

A1320 中村明美

一般会員から賛助会員へ変更

S1124 藤田和正

4)会員数の確認（2025. 4. 26現在）

個人会員 189名

一般会員A 161名

学生会員G 9名

実践会員J 6名

賛助会員S 8名

名誉会員M 5名

団体会員 21団体

会員総計 210会員

入会申込書に推薦者の押印がないものがあったため、事務局で確認をする。

会員の異動について承認

第2号議案：令和6(2024)年度決算（案）について 令和6(2024)年度事業報告（案）

事務局より、令和6(2024)年度決算（案）について説明を行った。

未納会員への会費納入案内を速やかに行うことで、収入の確保につなげる。また、不二出版からの令和6年度の年報売上金については、令和7年4月の入金となったため、33,750円は次年度に計上となる。

（本ページ参照）

令和6(2024)年度決算（案）会計監査 報告

小笠原監事より、下記のとおり報告があった。

日本仏教社会福祉学会

令和6年度会計監査報告書

令和7年 4月18日

日本仏教社会福祉学会

代表理事 藤森 雄介 様

日本仏教社会福祉学会令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の会計の収支決算書について、帳簿、預金通帳等の関係書類により監査を行った

令和6（2024）年度 日本仏教社会福祉学会 収支決算（案） 令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

収入の部

（単位：円）

| 項目     | 令和6年度予算   | 決算額       | 増(▲)・減    | 摘要                                    |
|--------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------------|
| 前年度繰越金 | 250,000   | 5,211,498 | 4,961,498 |                                       |
| 個人会員費  | 1,433,000 | 1,091,000 | ▲ 342,000 | 一般8000×127+賛助5000×8+実践5000×4+学生3000×5 |
| 団体会員費  | 660,000   | 600,000   | ▲ 60,000  | 30,000×20                             |
| 貯金利子   | 100       | 1,959     | 1,859     | 郵貯口座利子                                |
| 雑収入    | 100,000   | 0         | ▲ 100,000 | 不二出版からは年報売33750円の報告あり。次年度に計上。         |
| 収入計    | 2,443,100 | 6,904,457 | 4,461,357 |                                       |

支出の部

| 項目        | 令和6年度予算   | 決算額       | 増(▲)・減    | 摘要                            |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 大会助成費     | 400,000   | 400,000   | 0         | 第58回大会助成 真言宗善通寺派事務庁(香川県 善通寺市) |
| 年報刊行費     | 1,000,000 | 810,920   | ▲ 189,080 | 年報53号印刷費 年報編集経費               |
| 研究費       | 100,000   | 28,600    | ▲ 71,400  | 助成                            |
| 会議費       | 20,000    | 5,691     | ▲ 14,309  | 理事会等開催(Zoem開催 対面開催)           |
| 交通費       | 70,000    | 61,414    | ▲ 8,586   | 第58回大会打ち合わせ                   |
| 通信運搬費     | 170,000   | 74,188    | ▲ 95,812  | 郵送料・宅配料金(年報・ニュースレター・大会案内)     |
| 事務費       | 50,000    | 5,498     | ▲ 44,502  | 文具消耗品                         |
| 謝金        | 360,000   | 360,000   | 0         | 事務局員謝礼                        |
| 雑費        | 5,000     | 595       | ▲ 4,405   | 振込手数料                         |
| 学術会議分担金   | 30,000    | 30,000    | 0         | 日本社会福祉学系学会連合年会費               |
| ホームページ維持費 | 33,000    | 33,000    | 0         | 国際文献社                         |
| 学会賞       | 150,000   | 100,000   | ▲ 50,000  | 学会賞奨励賞 関連経費                   |
| 予備費       | 55,100    | 0         | ▲ 55,100  | 慶弔等                           |
| 支出計       | 2,443,100 | 1,909,906 | 533,194   |                               |

収支総合計

|        | 令和6年度予算   | 決算額       | 増・減(▲)    |  |
|--------|-----------|-----------|-----------|--|
| 収入計    | 2,443,100 | 6,904,457 | 4,461,357 |  |
| 支出計    | 2,443,100 | 1,909,906 | ▲ 533,194 |  |
| 次年度繰越金 | 0         | 4,994,551 | 4,994,551 |  |

※ 学会特別基金①1,000,000円(平成20年7月23日付にて郵便定額貯金で保管)

た結果、いずれも正確に記帳並びに処理されているものと認める。

監査実施日 令和7年4月18日

監査実施場所 関西福祉科学大学

小笠原研究室

監事 小笠原慶彰 監事 山口幸照  
承認

#### 令和6(2024)年度事業報告(案)

事務局より、令和6(2024)年度事業報告。

#### 1. 理事会・総会開催

- ・第1回理事・役員会 令和6年4月27日  
オンライン会議(ZOOM開催)
- ・第2回理事・役員会 令和6年9月13日  
総本山善通寺いろは会館 会議室にて
- ・令和6年度総会  
令和6年9月14日総本山善通寺遍照閣にて

#### 2. 年報刊行事業

- ・『日本仏教社会福祉学会年報』第54号校了  
第55号・第56号編集中

#### 3. 研究助成事業

- ・学会賞(対象期間:令和3/1/1~令和5/12/31)  
日本仏教社会福祉学会第8回学会賞(学術賞)  
『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の  
視点から—』著者 井川裕寛 会員  
出版社 株式会社法蔵館 発行日 2023.1.27

#### 4. 学術大会開催事業

- ・第58回学術大会  
(香川県・真言宗善通寺派宗務庁)  
令和6年9月14日(土)~15日(日)  
大会テーマ:  
「四国遍路・「お接待」・地域福祉」

#### 5. 広報事業

- ・ニュースレターの定期発行  
(2回の予定 未発行)

#### 6. 担当理事

- (令和6年度より業務分担担当理事制)
- ・将来構想 担当理事 栗田修司
  - 1) 会員減少に対する対策 2) 国際化への対応
  - 3) 年報の電子化の検討
- ・国際担当理事 郷堀ヨゼフ

#### 1) アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワーク

- ・年報編集委員会・査読委員会

担当理事 長崎陽子

- 1) 年報編集・査読

- ・研究担当理事 清水海隆

- 1) 研究助成事業

(Zoomを活用した仏教社会福祉勉強会)

- ・学会連合担当理事 渋谷哲

- 1) 日本社会福祉学会連合窓口

日本社会福祉学会連合 総会出席 渡邊  
(明治学院大学)

総会開催日時:2024年5月26日(日)

白金キャンパス(本館 1201教室)

18:30~19:30

- ・大会、庶務担当理事 渡邊義昭

- 1) 第58回大会開催連絡調整及び準備

第59回大会開催連絡調整及び準備

承認

#### 第3号議案:令和8年度 理事選出選挙について

理事選出規程にもとづき、本年6月から7月にかけて選出選挙を実施。

- 1) 選挙人・被選挙人について

第三条の会費の納入の扱い

選挙人・被選挙 人名簿の作成

- 2) 選挙管理委員会の指名について

委員長1名 清水理事

委員2名 渡邊理事 馬場会員

理事会として選出

承認

#### 第4号議案:

学会ホームページのサーバーおよびドメインの変更

日本社会福祉系学会連合 事務局より、本学会のウェブサイトについて2025年度からの変更の申し出があった。

1) 現在、本学会のウェブサイトは日本社会福祉系学会連合のウェブサイトの中にあり、いわば間借りしている状態で、学会連合のウェブサイト事業者に管理を依頼していた。そのため、サブドメイン及びサーバーを無償で利用し、更新作業費のみ支払いをしていた。

2) 2025年3月末をもってサブドメイン貸出サー

ビスを中止することになった。サブドメイン環境ではSSL (Secure Sockets Layer) の導入ができないため、セキュリティの厳しい環境ではサイトを閲覧できなかったり、WordやExcelファイルをダウンロードできなかったりするなどの支障が生じている可能性がある。

3) そこで、日本社会福祉系学会連合では、各学会に対して独自ドメインを取得のうえ、学会連合で新たにレンタルサーバーを契約し、ウェブサイトのサーバーを移転することになった。

4) これに伴い、本学会のサイトの維持を引き続きご利用する場合は、独立して独自ドメインを取得のうえ新規にレンタルサーバーを契約し、ウェブサイトのサーバーを移転する必要がある。

5) 現在、暫定的に従来のホームページを利用することができるが、独自ドメインを取得のうえ利用を継続する必要がある。学会のホームページURLの変更はない。(ウェブサイト事業者で対応)

#### 経費の発生について

- ・現在の年間利用料 33,000円
- ・独自ドメインの利用及び年間利用料  
初年度経費 140,543円  
次年度以降の利用料  
23,493円 + 消費税10% = 25,842円

事務局より、令和7年度予算には盛り込まれておらず、ホームページ維持費の項目で表記金額が計上されることをご承知いただきたい。

承認

#### 第5議案：令和7(2025)年度大会について 東京立正短期大学

事務局より、昨年の善通寺大会で報告があった通り日本仏教社会福祉学会第59回大会の開催にむけ実行委員会形式で実施する。清水理事を中心に開催の準備にあたっていく。

会場：東京立正短期大学  
東京都杉並区堀ノ内2-41-15  
地下鉄丸ノ内線「新高円寺」 徒歩15分

#### 〔I〕大会テーマ：

「現代社会における居場所づくりの必要性ー寺院が居場所になるためにはー」

「居場所」とは不思議な言葉で、特定の場所を示すだけではなく、安心感や自尊感、所属感など社

会との関係からポジティブな感覚(居心地が良いという感覚)を得られる空間について「居場所」と呼ばれる一方で、「居場所」や「居場所づくり」という言葉も、近年は多く聞かれる。その背景には、デジタル化に伴う社会的つながりの希薄化・都市化とコミュニティの希薄化による孤独感や孤立の増加があると考えられる。

「居場所づくり」は、個人が安心して過ごせる環境を提供するだけでなく、精神的健康や社会的つながりをつくり保つために必要不可欠であるといえる。一方で、価値観や宗教観、信仰心の変化・社会構造の変容に伴う檀信徒数減少により、檀家制度は綻び始め、地域の寺院の存続も課題となっている。

本大会では、寺院が地域に果たしてきた役割を振り返るとともに、現代社会において、地域の寺院が地域のハブや「つながり」をつくる「居場所」の一つとなるための課題と可能性について考えたい。

#### 〔II〕大会日程・スケジュール(案)

2025(令和7)年9月6日(土)～7日(日)

9月5日(金)15:00～ 理事会⇨理事懇親会  
9月6日(土)

9:00～ 受付

9:30～ 学会会員物故者法要 ⇨ 大会開会式

10:30～ 公開講演 ⇨ 昼食(学内で弁当)

13:30～ シンポジウム

16:30～ 学会賞授賞式 報告

学会総会 ⇨ 会員懇親会(学内)

9月7日(日) 9:00～ 受付

9:30～ 研究発表(2会場確保)

終了後 エクスカーション(予定)

(本山堀之内妙法寺：短大より徒歩7分程度)

#### 〔III〕物故者法要

導師：北川前肇学園常務理事

(立正大学・東京立正短期大学名誉教授)

式衆：依頼中

#### 〔IV〕公開講演 (9/6 10:30～12:30MAX)

演題：「宮沢賢治のめざしたもの」

講師：北川前肇学園常務理事

NKHこころの時代「宮沢賢治ー久遠の宇宙に生きるー」講師(2023.4-9)

#### 〔V〕シンポジウム(9/6 13:30～16:30) 仮案

テーマ：「現代社会における居場所づくりの必要性ー寺院が居場所になるためにはー」

詳細は、大会開催要項で会員に告知をする。  
承認

## 第6議案：『仏教社会福祉入門』改訂版について

今後の進め方について 代表理事から株式会社法蔵館統括（編集長兼務）戸城三千代氏と打ち合わせを行い、スケジュールや予算についての話をうかがってきた。今後に向けてより具体的な検討が必要となる。秋の理事会までに大枠を示したい。

承認

## 第7号議案：令和8（2026）年度大会について

事務局から、次年度以降の大会開催について、ここ5年間の大会開催地から西での開催について理事会に提案をした。

1) 令和7（2025）年度（第60回）大会について  
 令和7（2025）年度大会 東京立正短期大学  
 令和6（2024）年度大会 香川県 総本山善通寺  
 令和5（2023）年度大会 名古屋市 同朋大学  
 令和4（2022）年度大会 宮城県女川町  
 令和3（2021）年度大会 コロナ過のためZoomで開催（大会運営 龍谷大学）

理事会での審議のなかで、龍谷大学での開催について意見がでた。栗田理事より開催の方向で大学と調整する発言があった。秋の理事会で報告を受けることとなった。

承認

## 第8号議案：その他

日本社会福祉系学会連合から、日本学術会議法案に関する会長声明を発出された（2025年4月23日）。本学会としても、学会連合と同じ考えであることが確認された。

## 日本学術会議法案に関する会長声明

2025年3月7日に内閣府より国会に提出された日本学術会議法案には、日本学術会議の独立性を損ない、学問の自由を担保する日本学術会議の存在意義そのものを危うくする内容が含まれています。

これに対して、日本学術会議は総会（2025年4月15日開催）において、「日本学術会議法案の修正を求める」決議を行い、声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」を採択しました。

ここに、日本社会福祉系学会連合の会長として、日本学術会議が決議した提案および採択した声明に対して支持を表明し、国会において法案の修正を含め、慎重な審議が行われることを強く求めます。

2025年4月23日  
 日本社会福祉系学会連合会長  
 金子光一

## 4. 報告事項

1) 令和6（2024）年度 善通寺大会終了報告  
 大会実行委員会 宮城名誉会員より終了報告があった。

## 2) 委員会報告・担当報告

・年報編集委員会・査読委員会

報告者名：長崎陽子理事

令和6年度 活動進捗状況報告：

① 『年報』54号の発行について。応募原稿・編集規定の付加、その他変更箇所に関しては校了  
 ② 『年報』56号については、応募原稿（1本）の査読依頼中、実践報告（2本）に関しては編集委員会内において確認中

令和7年度 事業・活動予定

① 『年報』54号の発行  
 ② 『年報』55号発行についての編集と発刊（図書紹介、資料紹介、施設紹介含む）  
 ③ 『年報』56号についての編集をすすめること  
 ④ 査読委員の追加依頼  
 ⑤ 年報編集委員会の開催  
 ⑥ 論文執筆のためのサポート体制など、広報に関しての引き継ぎ

備考：『年報』の発刊が遅れているため、年度内に複数号の発行が可能かどうか

## 3) 事務局より

・ニュースレターの発刊 5月中にメールなどで配信、発送予定。

・会費の案内

前年度未納者への案内、今年度会費納入の案内も行う。

・選挙の案内について

5月中に前年度未納会員への納入案内を発送し、6月下旬までに入金があった場合、投票できるように対応したい。

・59回学会大会第一報の発送、メールなどで配信、発送予定。

・日本仏教社会福祉学会 事務局体制について報告

2025年度の事務局の窓口として、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所（千葉キャンパス）にお願いをしております。研究所スタッフが窓口として電話対応をしていますが、お問い合わせなどにつ

きましてはメールにていただければと思います。

今回の理事会は、令和7年9月5日(金)15:00～東京立正短期大学での開催となる。

議長より理事会終了時間の発言があり、第1回理事会を、17時15分に終了した。

////////////////////////////////////

## 事務局から

### 令和8(2026)年度 日本仏教社会福祉学会 理事役員改選選挙について

#### 1 選挙の実施について

現在の学会理事役員の任期が、令和8(2026)年3月31日までの任期になっております。

学会事務局としましても、令和7(2025)年度第1回理事・役員会理事会での報告の通り、理事役員改選選挙の準備を進めております。

#### 2 選挙権・被選挙権について

会員の皆様の選挙権・被選挙権の規定は下記の規定となっております。

|                                                        |                        |
|--------------------------------------------------------|------------------------|
| 日本仏教社会福祉学会理事選出規程                                       |                        |
| 第三条(選挙権・被選挙権)                                          |                        |
| 選挙権及び被選挙権を有する者は、選挙が行われる年の4月1日までに、前年度までの会費を納入している会員とする。 |                        |
| 1                                                      | 一般会員は選挙権、被選挙権をともに有する。  |
| 2                                                      | 学生会員は選挙権、被選挙権をともに持たない。 |
| 3                                                      | 賛助会員は選挙権のみを有する。        |
| 4                                                      | 実践会員は選挙権のみを有する。        |
| 5                                                      | 団体会員は選挙権、被選挙権をともに有する。  |
| 6                                                      | 名誉会員は選挙権のみを有する。        |

#### 3 学会費納入の扱いについて

既定では、「前年度の会費を4月1日までに納入している会員」とされていますが、前年度会費を未納の会員につきましては、6月20日までの納入をお願いいたします。納入をもちまして選挙権・被選挙権を有する会員とさせていただきます。

会費納入に関するご案内を送付させていただきますので、お振り込みをお願いいたします。

前年度会費を納入済みの会員につきましては、6月下旬に選挙に関する書類を送付いたします。

#### 4 今後の予定

6月下旬に、選挙に関する書類を選挙権・被選挙権を有する会員に発送いたします。

7月中旬を締切といたします。

その後、選挙管理委員会で開票作業を行います。

開票結果につきましては、9月の理事会に報告、新理事の選出を行い、学会総会で承認を得て、令和8(2026)年4月から3年間の任期となります。

////////////////////////////////////

#### 編集後記

ニュースレターの発刊が遅れましたことをお詫び申し上げます。

昨年度は、四国での初めての学会大会を開催することができました。東京からみると遠方ではありましたが、総本山善通寺様の有形無権のご協力により多くの会員の皆様をお迎えできたことを改めて感謝申し上げます。

令和7(2025)年度は、理事改選の選挙があり、9月の大会開催とともに学会の今後を方向づける節目の年になります。事務局としても理事役員の選挙の円滑な運営ができるよう選挙管理委員会と連携していきたいと考えております。

学会大会では多くの会員の皆様のご参加、研究発表をお待ちしております。

会員の皆様の協力と支えがあつての学会であります。質問やご不明なことがあれば下記の学会事務局までメールにてご一報ください。どうぞ、宜しくお願い致します。

理事選挙に関する情報や、学会費の納入状況、新規会員の申し込みご紹介、9月の大会に関することなど随時情報を提供していきます。

ご不明な点があれば、メールにてお問い合わせください。

事務局担当 渡邊義昭

////////////////////////////////////  
日本仏教社会福祉学会 事務局  
事務局メールアドレス

E-mail: info.jabsws@gmail.com

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町200

淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所内

日本仏教社会福祉学会事務局

TEL: 043-265-9879 (代) FAX: 043-265-7339